

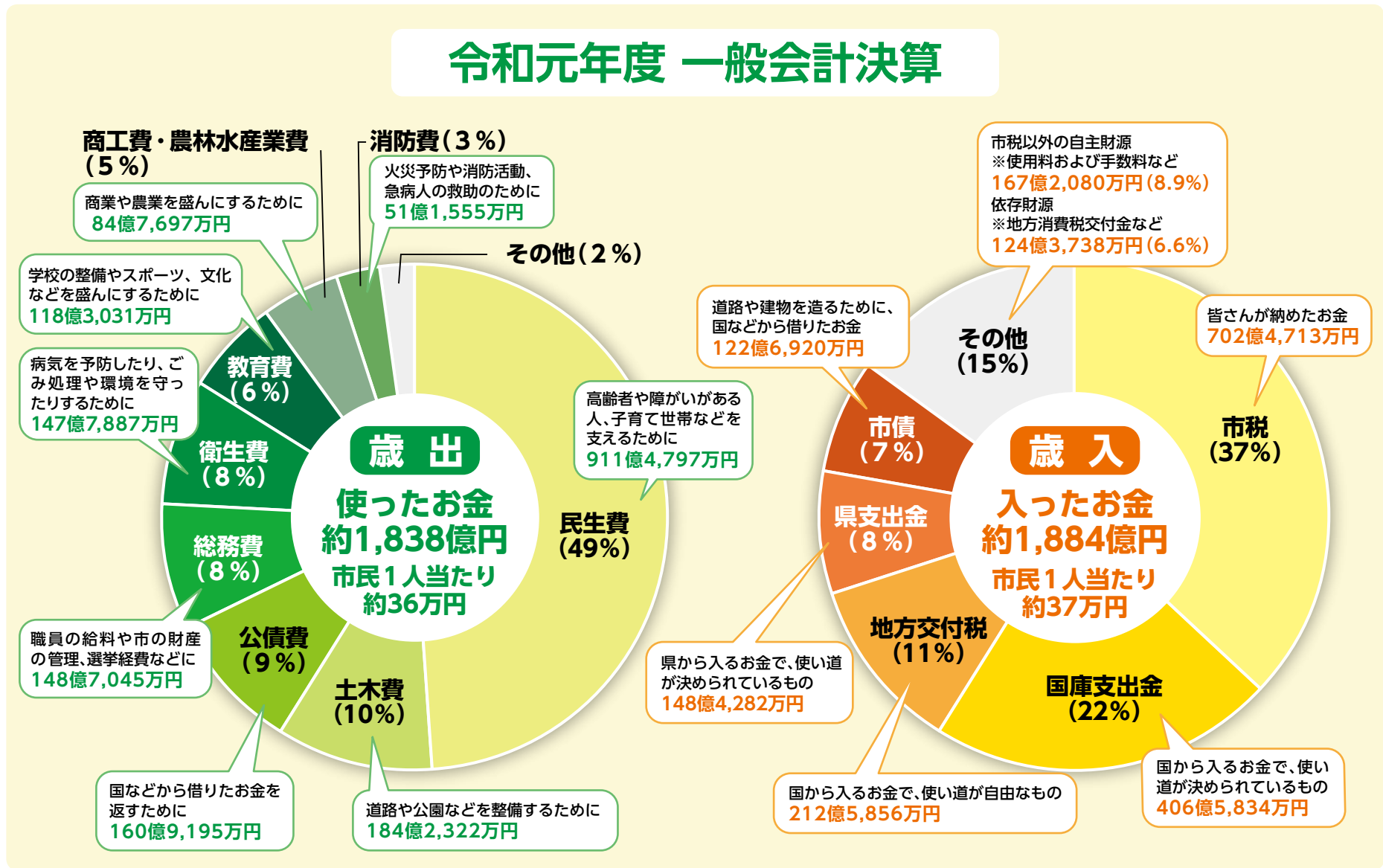
財政特集

令和元年度 財政事情の公表 松山市の家計簿の状況は？

令和元年度に本市が使ったお金は、一般会計1,838億2,751万円、特別会計1,480億2,455万円で、総額3,318億5,206万円でした。一般会計の実質単年度収支は、平成30年7月豪雨災害からの復旧や防災・減災対策などの経費の一部に財政調整基金を活用したことや、本市独自の経済対策のほか、社会保障関係経費の増加などで、9億2,970万円の赤字でした。実質収支は25億8,450万円で、62年連続で黒字を確保しました。今後も厳しい財政運営が予想されますが、健全な財政状況を維持しつつ、皆様のご理解を得ながら、1人でも多くの方が「笑顔」で、「幸せ」を実感できる「まち」を目指します。

年収300万円(月収25万円)の家計に例えると…

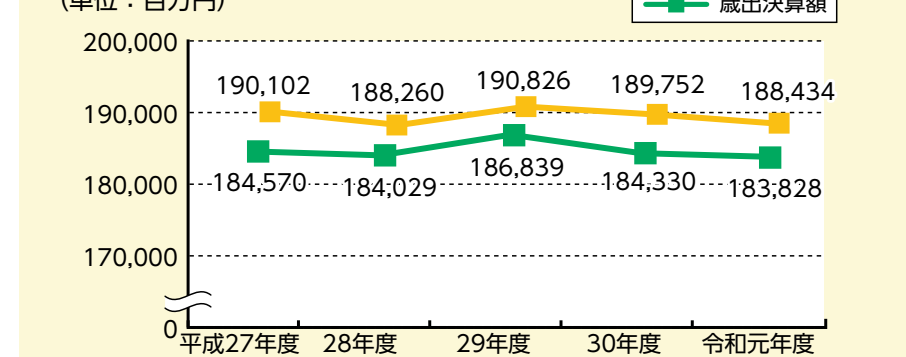
Table with financial data for a household with an annual income of 3 million yen. It includes sections for 'Used Money (支出)', 'Received Money (収入)', 'Savings and Loan Balances (貯金・借金の残高)', and 'Summary (まとめ)'. It also includes explanatory text for various financial terms like 'Used Money' and 'Received Money'.



こんな事業に使いました

- 子育て環境の充実: Children's medical care free of charge and expansion of childcare facilities.
●平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興: Restoration of damaged areas and reconstruction of disaster-stricken areas.
●地域経済の活性化や観光誘客の促進: Promotion of local economy and tourism.
●道後温泉本館の工事期間中ならではの魅力発信: Promotion of the charm of the Onsen Honkan during construction.
●市制施行130周年: 130th anniversary of the city's establishment.

一般会計の推移



最終予算額は、2018億6119万円(対前年度比0.1割減)で、そのうち歳入決算額は1884億3424万円(同0.7割減)、歳出決算額は1833億2751万円(同0.3割減)でした。
歳入: 市税が3年連続で過去最高の収入額を更新したほか、前年度に市債を活用した大型事業が完了した反動で、全体では13億1807万円、率にして0.7割の減でした。
歳出: 幼児教育・保育の無償化や障害福祉サービスの支給量増加などもあり、民生費が911億4797万円(同3.2割増)で全体の49.6割を占めています。次いで、土木費が184億2322万円(同0.9割減)、公債費が160億9195万円(同1.0割増)でした。
特別会計: 国民健康保険会計など13事業の歳入決算額は1555億9824万円(同2.7割増)、歳出決算額は1480億2455万円(同2.8割増)でした。
市債残高: 地方交付税を振り替える臨時財政対策債が増加したものの、将来負担を軽減するため借入れの抑制に努め、一般・特別・企業会計の総額が3156億9727万円(同1.6割減)で、前年度より51億923万円減少しました。また、臨時財政対策債を除くと、前年度から62億4631万円減少しています。

令和元年度 公営企業の業務状況

水道事業: 重点的に水道施設を耐震化する中で、財政状況は年々厳しさを増しているものの、単年度実質収支は14年連続の黒字で、5年連続の黒字を確保できました。
工業用水道事業: 収入が6億3819万円、支出が4億9387万円(資産維持費を含む)で、単年度実質収支は1億4432万円の黒字になりました。
公共下水道事業: 下水道の普及拡大による使用料収入の増加や支払利息の減少などで、15億3542万円の黒字でした。企業債等残高は、償還が進み12221億3219万円と、ピーク時に比べ274億8157万円減少しています。
簡易水道事業: 簡易水道を維持するための支出2億8998万円(資産維持費を含む)に対し、料金収入だけでは不足しています。
その他: 簡易水道を維持するための支出2億8998万円(資産維持費を含む)に対し、料金収入だけでは不足しています。

◆実質収支: 当該年度に所属すべき収入と支出の実質的な差額。形式収支(歳入総額-歳出総額)から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額。
◆実質単年度収支: 単年度での実質的な収支。前年度からの収支の累積や基金への積立・取崩の影響を除いたもの。単年度収支(実質収支-前年度実質収支)に、実質的な黒字要素(財政調整基金積立額や地方債の繰上償還額)を加え、赤字要素(財政調整基金取崩額)を差し引いた額。
◆市債(地方債): 自治体が資金調達のために借入れるお金のこと。
◆基金: 自治体が特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て運用するもの。
◆地方交付税: 国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税の一定割合および地方自治体の全額を、地方自治体の税収の地域的な不均衡を補うために、国から交付される地方自治体固有の財源で、使い道に制限はない。

図 経営管理課 ☎9828・FAX9320454、下水道政策課 ☎946554・FAX9345862

財政用語解説